

眼科

1. 概要

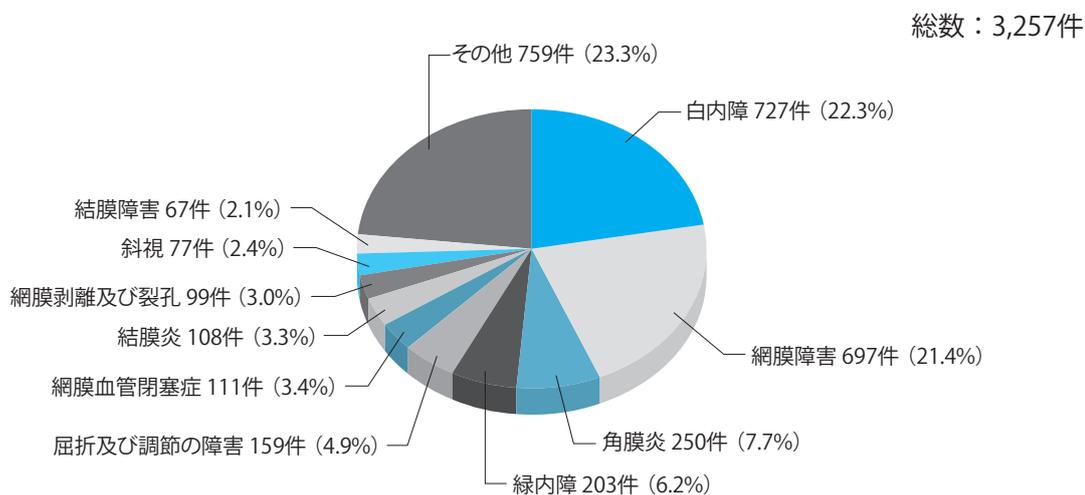
2016年4月より、白内障手術が術前日入院、術翌日退院の2泊3日で可能となった。今後、さらに白内障手術の入院期間の短縮、また、日帰り白内障手術も検討される。また、硝子体手術に対してもクリニカルパス使用可能となった。今後、緑内障、斜視手術等、他疾患にもクリニカルパスの適応が検討される。

2016年6月より、視能訓練士（非常勤）1名が配置された。検査待ち時間等短縮が期待される。

また、加齢黄斑変性等に対する硝子体注射前後の診察等において、地域の医療機関との病診連携も進んだ。

（副部長 榊原 由美子）

2. 新規登録疾患



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
白内障	老人性白内障, 詳細不明	642	H259
	後発白内障	53	H264
網膜障害	詳細不明の糖尿病, 眼合併症を伴うもの	349	E143
	黄斑及び後極の変性	218	H353
角膜炎	その他の角膜炎	149	H168
	角膜潰瘍	48	H160
緑内障	緑内障, 詳細不明	132	H409
	緑内障の疑い	24	H400
屈折及び調節の障害	乱視	135	H522
網膜血管閉塞症	その他の網膜血管閉塞症	94	H348
	その他の網膜動脈閉塞症	13	H342
結膜炎	結膜炎, 詳細不明	53	H109
	急性アトピー性結膜炎	46	H101
網膜剥離及び裂孔	網膜剥離, 網膜裂孔を伴うもの	59	H330
	網膜裂孔, 剥離を伴わないもの	34	H333
斜視	間欠性斜視	26	H503
	共同性内斜視	22	H500
結膜障害	結膜出血	30	H113
	翼状片	22	H110

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	26,265人	年間外来新患者数	2,432人
年間入院患者数	4,953人	年間入院新患者数	915人

(2) 入院時の疾患内訳

疾患名	人数(人)	疾患名	人数(人)
白内障	617	内反症	3
網膜剥離	54	網膜下出血	3
黄斑前膜	53	角膜穿孔	2
緑内障	46	硝子体脱出	2
糖尿病網膜症	39	水晶体偏位	2
硝子体出血・混濁	32	眼窩腫瘍	1
黄斑円孔	21	眼窩蜂窩織炎	1
硝子体黄斑牽引症候群	8	眼筋炎	1
増殖硝子体網膜症	6	眼内炎	1
外傷・眼球破裂	5	急性網膜壊死	1
視神経症	4	網膜細動脈瘤	1
眼内異物	3	網膜裂孔	1
眼内レンズ脱臼	3	計	913
斜視	3		

(3) 手術・検査数

①外来手術数

術式	件数(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	528
網膜光凝固術(PHC)	326
レーザー後発白内障切開術(YAG)	98
レーザー虹彩切開術(LI)	37
涙点プラグ挿入	18
レーザー線維柱帯形成術(LTP/SLT)	10
霰粒腫摘出術	1
計	1,018

②外来特殊検査件数

検査名	件数(件)
光干渉断層撮影(OCT)	8,286
動的量的視野検査	843
静的量的視野検査	740
蛍光眼底撮影	1,291
眼鏡処方	294
計	11,454

③手術センター手術数

術式	件数(件)
白内障手術	751
硝子体茎頭微鏡下離断術	194
流出路再建術	22
眼瞼下垂症手術	21
縫着レンズ挿入	19
翼状片手術	19
濾過胞再建術	19
網膜復位術	13
内反症手術	10
斜視手術	8
角膜・強膜縫合術	6
霰粒腫摘出術	6
硝子体注入・吸引術	6
硝子体切除術	4
結膜下異物除去術	3
眼瞼腫瘤切除術	2
眼窩内腫瘍摘出術	1
結膜肉芽腫摘除術	1
結膜嚢形成手術	1
瞼縁縫合術	1
前房、虹彩内異物除去術	1
増殖性硝子体網膜症手術	1
計	1,109

学会発表（医局）

<眼科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	細菌感染と免疫機序が関与したと考えられる翼状片術後の壊死性強膜炎	筆頭演者	山口 沙織	第70回日本臨床眼科学会	京都市	2016/11/5